RFIDの実証実験
2007（平成19年度）

AI Consultant
柴　田　　彰

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata 2008-02-25

日本におけるRFIDの実証実験 2007

件名	目的
流通・物流効率化システム開発調査 医療分野における電子タグの適用調査及び実証事業	医療分野における電子タグ適用の有効性について検証する。 事業の中で、国内外の医療分野の事例調査を行い、GS1/EPCコードを適用した院外－院内間での医薬品トレーサビリティの実証とその有効性の評価を行う。
流通・物流効率化システム開発調査 出版業界における電子タグ活用調査事業	出版業界における電子タグ導入のガイドラインを作成することを目的として、実導入に向けて、導入ステップ、レベル(範囲)、等の調査・研究並びにそのレベルに応じた電子タグ導入に伴う費用対効果の算出を行う。
流通・物流効率化システム開発調査 航空機産業における部品ライフサイクルに関する電子タグ活用実証実験	効率かつ品質の高い整備作業の実現及びジャスト・イン・タイムの部品補給を実現するSCMの構築において電子タグの期待は極めて大きい。 本事業では、主に、電子タグを活用することによる部品～組み立て～修理等の工程管理に関する実証実験を行う。
流通・物流効率化システム開発調査 日配品分野等における物流クレート共有化に関する電子タグ実証実験	物流クレート等の物流資材の普及を目的として、①電子タグを活用したクレート等の共有モデルの構築、②必要となる電子タグ企画案の策定、③他分野(商材、物流資材)への展開に必要となる課題及び解決方法の検討について実施する。
流通・物流効率化システム開発調査 住宅関連産業での電子タグ活用調査事業	建材・住宅設備産業の物流、販売、建築における商品SCMにおける問題点や課題について整理する。 これらの調査研究内容を踏まえ、住宅建設業界における電子タグ利活用モデルのコンセプトについて、問題点や課題について整理するとともに、SCM管理にける電子タグ利活用モデルでの技術検証を行う。
製品安全情報等提供・収集事業 電子タグの利活用による製品安全制度構築のための実証実験	家電製品及びガス機器について、製品ライフサイクル管理の関係者の共同による製品個別レベルの製品所在管理の仕組みづくり、および製品側での修理履歴管理による製品現状の正しい把握の仕組みづくりについて、電子タグを利活用して実現するための実証実験及び検討を行う。
わが国のIT利活用に関する調査研究事業 電子タグ・電子商取引を活用した情報共有のあり方に関する調査研究	業種や取引関係を超えた情報共有の仕組みの構築を図るため、共通の対応が求められる課題について整理・分析をし、幅広い関係者が参画できる議論の場の設置と対応策についての検討、基盤構築に必要な技術的課題の検討と技術標準の確立に向けた国際標準化活動を実施する。

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata

日本におけるRFIDの実証実験 2007

業界	事業概要
医薬品業界	院内物流の効率化による経営改善効果の検討、および院外－院内間での物流統合によるデータのリアルタイム性、正確性、トレーサビリティに関する実証実験を行う。 (1)医療分野における電子タグ適用調査 ●GS1 Healthcare User Groupとの提携によりJANコードからEPCコードへの移行調査 ●欧米での医療分野(製薬企業3社以上)におけるEPCコード適用実態調査(現地調査) ●国内での医療分野における電子タグ活用のニーズ調査(任意の5病院以上に対しヒアリングを実施) (2)医療分野における電子タグ活用に際しての運用ルールの検討 ●院外の医薬品物流管理における電子タグ活用の運用ルール検討 ●院内の医薬品物流管理における電子タグ活用の運用ルール検討 (3)院外－院内を通じた医薬品トレーサビリティの実証 ●院外(医薬品卸など)から院内(ベットサイド)までの医薬品の正確なトレーサビリティ実現による有用性の実証 ●院外物流における梱包単位と院内物流における個品単位での電子タグ活用を考慮した複合運用、リアルタイム情報共有の実証 ●院外－院内間での物流連携による医薬品の在庫可視化・削減の有用性の実証

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata

日本におけるRFIDの実証実験 2007

業界	事業概要
出版業界	業界全体の各分野(出版社、取次等)における費用対効果を算出し、 ガイドライン作成に資する。 具体的には、実ビジネスにおける、電子タグ導入ガイドライン作成に資するため、 以下の内容の調査、実証を行うこととする。 (1)出版業界における電子タグ導入のステップ、レベル(範囲)の調査 (2)書店等を中心とした費用対効果算出に必要な要素の調査並びに費用対効果の算出 (3)(2)項に加え、過去の実証実験結果から業界の各プレーヤー(取次、出版社等)毎の費用対効果シミュレーション実施 (4)必要に応じ、書店等、実際の店舗での実ビジネスモデルを想定した導入シミュレーションの実施による電子タグの有効性の実証 (5)上記(1)～(4)項を取りまとめ、電子タグ導入ガイドラインを作成
航空機産業業界 (部品ライフサイクル管理)	自動認識技術を使って、リアルタイムな部品データの取得・保管・検索を容易にし、 業務に係る事業体で時間の遅れのない業務判断を可能とすることによるSCMを構築する。 また、電子タグ等の部品データとその他業務の中で使用する電子データ(マニュアル、機材管理等)とを連接することなどにより、新たな業務支援の仕組みを提供する。

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata

日本におけるRFIDの実証実験 2007

業界	事業概要
日配品業界	物流クレート等の物流資材の普及を目的として、①電子タグを活用したクレート等の共用モデルの構築、②必要となる電子タグ規格案の策定、③他分野(商材、物流資材)への展開に必要となる課題及び解決方法の検討について実施する。 (1)物流クレート等共用化モデルの検討 ●国内外における電子タグを活用した物流資材(クレート、パレット、オリコン等)の先進事例における共用モデル等のとりまとめ ●電子タグを活用した共用管理方法、共用管理のための運用方法等について検討 ●標準クレートの個体識別に必要となる電子タグの規格、共用管理すべき項目、使用するコード体系について検討 (2)電子タグを活用した物流クレート共用化実験 メーカー～小売店舗までの実ビジネス環境下で、以下を検証することを目的とした実証実験を実施する。 なお、実証実験は、標準クレートの導入が進みつつある日配食品分野を対象として実施する。 ●クレート紛失コストの削減 ●空クレート保管コスト、返却仕分、配送コストの削減 ●クレート統一による積載・積み合わせ効率の向上 ●クレート自体の利用回転率の向上に伴う在庫保有量の削減

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata

ご静聴ありがとうございます。

AI Consultant
柴　田　　彰

All Rights Reserved, Copyright (C) Akira Shibata　2008-02-25